

令和6年度（2024年度）第1回川口中学校区地域づくり推進会議
及び川口地域づくりの会 議事概要

日時	令和6年（2024年）5月19日（日）9:30～12:00
場所	川口中学校 東校舎1階 被服室
出席者	参加者：吾妻、荒井、稲原、江崎、大島、高野、田倉、内藤（佳）、内藤（妙）、中尾、中村、平井、山口 高齢者あんしん相談センター川口：乙幡、太田 高齢者あんしん相談センター恩方：長内 はちまるサポート川口：田中 川口中学校校長：寺沢 青少年若者課（子ども・若者育成支援センター）：井垣、山本 地域づくり担当：新納、伊東、松崎、松下、和田
配布資料	・ 資料1_5月19日川口推進会議資料（懇談会報告） ・ 資料2_令和6年度の推進会議の進め方について

1 開会

事務局より挨拶、資料確認。

参加者名簿について、記載してある所属団体及び役職に変更がある場合は事務局に申し出ていただきたい旨を説明。

（意見）

- ・ 以前、肩書を載せなくていいのではという話もあった。
- ・ 新しく参加した人は、肩書が載っているとどのような人がいるのかがわかるので、肩書はあった方がいい。
⇒ （市）肩書は載せるようにする。変更がある人は後で事務局に申し出ていただければ。
- ・ 推薦団体の記載は不要では？
⇒ （市）推薦団体の欄は削除する。
- ・ 名簿には所属している部会も入れてほしい。
⇒ （市）承知した。

また、本日初めての参加となった消防団（川口地区第6分団長）の池田氏及び川口中学校長の寺沢氏よりご挨拶をいただいた。

2 事務局からの報告等

第4回八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会について

〈説明内容〉

- ・ 4月26日に第4回懇談会を開催した。今回の懇談会では、資料1の左上にあるとおり、これまでに設置した長房、川口、みなみ野、南大沢の推進会議で検証してきた結果見えてきた現状を示した。
- ・ 全市的な展開を考えると推進会議に対する現在の市の関わり方を再考しなければ難しいことや、現状のやり方では活動のための団体の設立が必要となり組織形態が煩雑になって

しまうことなどから、しくみを変えていくことが必要。

- ・ 具体的なしくみは決まっておらず、基本方針改定の中で描いていく予定。
- ・ 目指すべきしくみとしては、懇談会の中で議論された「地域づくりの3原則」を踏まえた地域主導の取組に対し市が必要なときに参画し必要な協力をするしくみが必要と考えている。
- ・ 懇談会でいただいた主な意見は資料1の右上にまとめている。目指すべきしくみについては、今後展開していく新たな地域での考え方。川口を含め、既に推進会議を立ち上げている地域については、それぞれの地域の状況を踏まえ、皆さんとお話をしながら進めていきたい。
- ・ 川口から懇親会に参加していただいている荒木氏の懇談会での主な意見及び懇談会を終えての所感を資料1の右下にまとめている。

〈質問・意見等〉

- ・ 八王子未来デザイン 2040 の概要を教えてください。
 - ⇒ （市）八王子市の最上位計画で、2040年に目指す姿を描いたうえで、それに向けた各部署での取組をまとめているもの。
 - ⇒ （参加者）八王子未来デザイン 2040 のビジョンは八王子全体の話。この中で、推進会議の中で議論してきているのは、地域自治に関すること。川口地域をどのように変えていけばよりよい地域にできるかということを話し合っている。この地域づくりに関して、市の理事者がどのように考えているのかぜひ示してもらいたい。
- ・ 資料1の中で「共同」と「協働」が使われている。「共同」というのは、推進会議という組織において（ゆくゆくは市の部署のひとつとして）市と地域が一体となって事業を進めていくという意味で、「協働」は、地域づくり団体に活動するなかで市も協力しながら進めていくという意味で理解したがそれで問題ないか。今後、推進会議の中で地域自治を考えていくが、こういったことは市と地域で共に考えていかないと進められない。
 - ⇒ （市）地域自治部会を中心として、今後推進会議の中で川口地域をどうしていくのかということを話し合っていくときには、市も一緒に入って考えていく。
- ・ 推進会議での議論のターゲットがわからない。マルシェや地域防災、コミュニティカレンダーなどの取組は地域のコミュニティをつなぐためのツールであり、それ自体が地域自治につながるものではない。川口地域、特に上川などの人口減少やバスの減便など交通の問題など、そういった地域の課題を今後どのようにしていき、20年後、30年後の地域をどのようにつくっていくかということを、川口の地域自治として推進会議で行政と一緒に話し合っていくのではないのか。
 - ⇒ （参加者）そのとおり。この会議では、川口の地域自治をどのようにしていくのかということを話し合っていきたい。
- ・ 推進会議と川口地域づくりの会、二つの組織になっているが、一つの組織ではないのか。
 - ⇒ （参加者）組織を分けないと収益を上げるような事業が難しいためこの形態になっている。
 - ⇒ （参加者）マルシェでの収益を川口地域づくりの会の他の活動にも使っていきたい。川口の地域ブランド商品ができれば、それをマルシェで販売するような活動もやっていきたい。

3 令和6年度の推進会議の進め方について

(1) 今年度の日程について

- ・ 資料2にあるとおり、今年度の推進会議は5回を予定している。

(2) 川口地域づくりの会について

- ・ 令和6年3月9日の推進会議で地域づくり団体である「川口地域づくりの会」の設立総会を行い、役員や部会、今後の活動の進め方について審議し、決定した。
- ・ その後に行った役員会において役員の方の了承を得て市の「地域づくり団体の届出に関する要綱」に基づき届出を行っていただき、市でも確認を行った。また、役員を中心に活動計画（案）の作成、会の銀行口座の開設や印鑑の作成の手続きを行っていただいている。本日の総会では、活動計画及び予算を審議する。

(3) 「推進会議」と「川口地域づくりの会」の機能・役割

- ・ 地域づくり推進会議は、市が要綱に基づいて設置している会議体。機能・役割としては、参加団体間の連携・調整・補完・情報共有、行政との連絡・調整・相談・検討としている。
- ・ 川口地域づくりの会は、地域主体で設立していただいた任意団体。機能・役割としては、推進計画で掲げた地域の将来ビジョンの実現に向けた、推進計画や推進会議の議論に基づく取組の実行として整理を行った。
- ・ 推進会議で議論・検討した内容を川口地域づくりの会で実行し、推進会議の場で活動の報告をするといった形で連携を図りながら運営していきたい。

(4) 今年度の推進会議の進行及び内容について

- ・ 令和6年度は、予定している5回の推進会議の時間の中で、推進会議と川口地域づくりの会を合わせてやっていければと考えている。推進会議の前半はこれまでどおり市の運営する推進会議とし、後半を川口地域づくりの会として、役員を中心に運営する形で開催していきたい。前後半の時間配分等については、事前に行う役員会で調整する。
- ・ 具体的に行う内容としては、推進会議では地域情報の共有、行政からの情報提供や相談、各部会の活動状況の報告、川口地域づくりの会の部会活動と連携したテーマの検討。川口地域づくりの会では、総会や会の連絡、活動の打ち合わせと考えている。昨年度、推進会議の中で2回ほど話し合った、獣害対策・農地活用のことなども、今後部会として活動していくための打ち合わせとして、川口地域づくりの会の時間の中で話し合っていただければと考えている。

〈質問・意見〉

- ・ 獣害対策のことなど前回も話し合っていたが、市がどれだけ本気で取り組んでくれるのかということが大きいと思う。地域の特産ブランドを作りたいといったことを話し合っても、いろいろな制限があり、できない理由ばかり出てくる。実現に向けて市もどれだけの熱量で取り組んでくれるのか。それがなければ、話だけで終わってしまい、意味がない。そのためにも、5年など期間の中で毎年の目標を決めて効果を測るような進め方をしていく必要がある。

⇒ （参加者）そう思う。川口地域づくりの会は活動をする組織なので、推進会議の中でそのための時間を取る必要はないのでは？推進会議の中では、川口の地域自治につい

て、獣害対策ならそれをみんなで話し合うというようにしたほうがいい。

- ⇒ （市）川口地域づくりの会の話し合いについても、市と関わるテーマであれば、職員も入って一緒に考えていくようにしていく。ただおしゃべりして発表してもらうということでは考えていない。
- ⇒ （参加者）推進会議の中で、市も一緒に話をしていくときには、我々から具体的な提案ができた方が、話が進みやすいと思う。例えば、地域ブランドを作って広く周知するために道の駅で販売したいといったときに、市に調整をお願いするなど。具体的なアクションにつながるディスカッションができればいい。
- ⇒ （市）そのようにしてもらえるといい。また、具体的なテーマについて推進会議の中で、全員で話し合いたいといったことがあれば、それも提案してもらいたい。
- ・ 推進会議の中で市がやるべき課題がでてきたときに、市の政策形成につなげていくしくみはあるのか。
- ⇒ （参加者）推進会議の中で川口の地域自治として話し合ったことについてはとりまとめ、市長や教育長を呼んで提案したい。そこでトップの考えを聞きたい。

4 川口地域づくりの会の各部会の活動状況等の共有

（１） 地域防災部会

- ・ 3月に防災教室を実施してから、具体的な活動はない。
- ・ 今年度、災害時のボランティアセンター開設訓練を実施したいと考えており、それに向けて、6月にボランティアセンターの開催するリーダー研修会に部会メンバー4人が参加する予定。

（２） マルシェ部会

- ・ 5/11, 12に川口マルシェを開催し、盛況であった。
- ・ 包丁研ぎが特に盛況になり、地域の需要があることがわかった。
- ・ 赤ちゃんから高齢者まで多世代が交流できる場になった。
- ・ この時期にマルシェを開催しているのは、母の日と合わせるため。マルシェを通してお母さんのことを思いやる機会をつくりたいという思いは出店者も理解してくれているので、そういった目的をもったマルシェとして実施できているのは良いと思う。

（３） 地域自治部会

- ・ 地域自治部会としての具体的な活動はまだないため、この後の総会で事業計画を説明し、承認されたあとに、川口の地域自治についての話を皆さんとしていきたい。

5 川口地域づくりの会通常総会

議事概要は、別途、川口地域づくりの会において作成。

6 部会の取組に関する意見交換

地域自治部会長の進行により、各テーブルで、川口の地域自治として「こういう課題を考えていく必要がある」というものを話し合った。話し合った内容については、地域自治部会で取りまとめている、市長との懇談会に向けて準備をする予定。

7 地域での活動等の情報共有・相談

高齢者あんしん相談センター川口より、「地域の助け合い活動応援講座」について案内があった。

8 閉会

以上